

## スポーツのアマチュアリズムとは

ヒノキ新薬株式会社

取締役社長 阿部 武彦

(成城大学出身・58クラブ)

ガネフォの幹事、村上順三氏よりガネフォ60周年記念誌の原稿依頼を受けましたが、私は不適任だと思い一度はお断りしましたが、思う事あって、拙文をお送りさせていただきます。

と申しますのは、今や「ガネフォ」と言っても記憶する方は川を渡り、ターンして戻る力はなく渡り切ってしまった方が多くおられます。又、当時1958年卒の各大学横割りで作っていた「58クラブ」のメンバーであり、ガネフォの説明会の席に出席させて頂いたものの、時すでに私的な予定で西ドイツへ遊学の予定が決まったばかり。当時は何しろ1ドル=360円、ブラックマーケットでドルを買うと420円と言う時代でしたが両親もかなり無理をして送金の目処をつけてくれました事もあり、ガネフォの説明会の折にも、ガネフォの意味も良く分からずその後は不参加。4年後に帰国し、ガネフォ参加メンバーからその実情を聞き、当時インドネシアのスカルノ大統領がいかなる思いでオリンピックに対抗するべく立ち上げたのか薄々わかるのでした。

時が経って、かれこれ30年ほど前、元横綱琴櫻率いる佐渡ヶ嶽部屋が墨田区より移転し、そのお披露目の会で、デヴィ・スカルノ夫人とお会いしました。まだお若かった事もあり、インドネシアとは言え大統領夫人のご意向はさすがなものと感じておりましたが、その後何度かテーブル

を同じくした折にもガネフォの話を持ち出す気にはなりませんでした。

ガネフォの演じたものは何であろうかと今更ながら考えますと、そこに今の IOC のあり方並び、JOC、さらに付け加えるならば世界スポーツビジネスのあり方に、米国のブランデー会長が通そうとしていた「アマチュアリズムのオリンピック」とあまりにもかけ離れたあり様に「スポーツを愛する『個』の人の問題」ではなくスポーツ組織、あえて言うなら業界、スポーツビジネス・・・日本を代表するなら電通。「スポーツマンシップにのっとったスポーツ選手を食い物にするな!」

「ショービジネスはラスベガスのシルク・ド・ソレイユのショーに任せるべきではないか・・・」と憤りを持って申したいのです。

もし、ガネフォがあるべき姿で政治色、ビジネス色を離れた純粋なスポーツ、世界スポーツ組織として対抗しているものとして残っていたなら、おちゃらけたスポーツショー的ゲームは捨て置かれ、いや或いは逆にそういうものにもっと早くなっていたかはいざ知らず、もう少し変わったものになっていたのではないかと考えるのです。

スポーツ界からアマチュアリズムが撤去され、いまだにクリクリ坊主の頭の汗を拭い、甲子園の汗の染み込んだ砂土を袋に詰め込むあの涙や汗、たとえ一回戦で敗退しようと心打たれるものが無くなってしまったら・・・。

ガネフォが如何なる経緯で継続出来なくなったのかは存じませんが、あんな大都会、大国でなければオリンピックに手を上げる事ができない。たとえ競技別に3ないし 4 箇所都市での開催が出来るようにするなら、もう少し大国経済主体の(そうです、金儲け主体の)オリンピックでは無くなるのではないのでしょうか。

そうです、コマーシャル価値を分散または下げる事によって純粋ス

ポーツの道が開けるのではないかと願うばかりです。



58クラブ同志会

2000, 9, 5

ヒノキ新薬 松沢洋子のシンクロプールにて

YOKO MATSUZAWA MEMORIAL SYNCHRO POOL

山本(勉) 遊佐 宮村 高木 堀

阿部 浜野 藤本